

# 安全水準の向上を

## 県電設協会・県電気工組防災大会

県電設協会（山ノ内文治会長）と県電気工事業組合（寺田実三理事長）は8日、鹿児島市の約40人が参加し、向こう1年間の無事故・無災害を祈願。防災大会を開いた。協会、組合員ら



祈願祭を終え写真に納まる参加者  
＝鹿児島市の荒田八幡宮で

大会に先立ち行われた安全祈願祭では、山ノ内会長、寺田理事長が神前に玉ぐしを捧げるなど、現場の無事故・無災害と関係各社のさらなる繁栄を祈願した。

今年の安全スローガンは「ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害」「慣れた作業に見えない危険 必ず守ろう作業手順」。安全宣言では、同協会安全衛生委員会の春山委員長が「厳しい経済状況で、いかなる環境になろうとも労働災害の防止に一致団結して取り組むことを宣言します」と力強く述べ、参

# 受注増に期待

## 県解体連鹿児島地区安全祈願祭

県建設物解体業連合会  
鹿児島地区（斜木拓会長）  
は8日、鹿児島市の護国



安全と企業繁栄を誓い写真に納まる参加者＝鹿児島市の護国神社で

神社で安全祈願祭を開催。会員ら約20人が参加して



安全祈願祭では、斜木会長と水口隆浩副会長、安田幸生氏が神前に玉ぐしを捧げ、地域における安全と企業の繁栄を誓った。斜木会長は「新政権の政策に期待し、会員の

## 県住宅・建築総合センター ストリートピアノに寄付 被災地の街づくりを支援



活動の広がり期待を寄せる山下理事長（中央）とプロジェクトのメンバーら＝鹿児島市の県住宅・建築総合センターで

一番街商店街振興組合（庵下龍馬理事長）と鹿児島まち自慢快発考舎（大坪徹会長）は、東日本大震災の被災地にストリートピアノを贈るプロジェクトを行っている。その呼び掛けに賛同し、県住宅・建築総合センター（山下孝志理事長）は8日、職員らから集めた

浄財を寄付した。同プロジェクトは、商店街や地域に活気を取り戻そうと、県内11市町の商店主らが発案。欧州の街中で見られるストリートオルガンなどにヒントを得て、2011年2月、一番街商店街に誰でも自由に弾けるピアノ2台を初めて設置した。

受注増を願うとともに、工事の安全を第一に無事故・無災害でこの1年を送りたい」と気持ちを引き締めた。

また同日は、肝属地区（上津義和地区長）の安全祈願祭も垂水市本城の上之宮神社で行われ、1年の安全と景気回復を祈願し写真。

また、祈願祭後は安全講話も実施され、安全に対する意識の高揚を図った。

# 地域貢献活動

## ～ 県トラック協会 ～ 交通遺児を支援



県トラック協会（外蘭輝蔵会長）は2012年12月19日、鹿児島市の県交通被災者たすけあい協会（福石堅郎理事長）を訪れ、チャリティーの益金13万円を寄付した＝写真＝。交通遺児への支援は、今回で9回目となる。

同協会は、毎年10月9日を「トラックの日」と定め、トラック運送業界が果たす役割や取り組みを広く県民の関心と理解を深めようと、さまざまなイベントや広報活動を行い、トラック運送の重要性をアピールしている。今年も同21

日に同市のマリポートかごしまで「トラックの日フェスティバル」を開催。会場で交通遺児への援助金を募ったほか、各種イベントの収益金を献金に充てた。

同日は、外蘭会長、松元健一専務理事らが県交通被災者たすけあい協会事務局を訪れ、福石理事長に献金を手渡した。

外蘭会長は「われわれは道路を利用して仕事をしている。交通事故はあってはならないが、被災者のために少しでもお役に立ちたい」と話した。

福石理事長は「毎年感謝します。子供たちを元気付けたい」と感謝の言葉を寄せた。

### ～ 前田組 ～

## 大橋川で美化

（株）前田組（川添新一社長、阿久根市）は2012年12月14日、同市の大橋川でボランティア活動を行った＝写真＝。社員4人が参加し、周辺の草払いやごみを収集。河川

同活動は県の「みんなの水辺サポート推進事業」の一環として実施。12年度3回目の作業となった。



社員は草刈り機を手に、長く生い茂った雑草をきれいに除草。空き缶などのごみも一つ一つ丁寧に収集し、作業終了後、一帯は見違えるほどきれいになった。

### ～ 川原建設 ～

## 地域道を清掃

（株）川原建設（塚田洋一社長、霧島市）は2012年12月20日、同市準人町の国道223号沿いで清掃ボランティア活動を実施し＝写真＝、年末年始を控えて道路の環境美化に一役買った。

活動は、ふるさとの道サポート推進事業の一環。日ごろお世話になっている地域への感謝を込めて行われた。

同日は、社員11人が参加。作業に先立ち、塚田社長が「交通量が多いので、安全に留意して作業を」と呼び掛けた。

作業区間は、国道223号の東郷交差点から西光寺交差点までの延長550m。子供たちの通学が終わるのを待って、社員らは路側帯に溜まった火山灰などを除去、草払いなどに精力的に取り組んだ。



作業を見かけた住民は、「朝早くからありがたい。土砂も定期的に取り除いてくれるので、草も生えにくくなった」と喜んでいた。

### 情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し報道部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。  
E-mail:hensyu@po.kc-news.co.jp